

骨塩定量検査 クリニック運用フローチャート

■STEP 1：対象患者

骨粗鬆症 or 疑い患者

■STEP 2：初年度判定

【治療開始から1年以内か？】

YES → ア適用（4ヶ月毎 OK）

NO → STEP 3 へ

■STEP 3：イベント評価

【新規骨折あり？】

YES → イ適用

NO → STEP 4 へ

■STEP 4：リスク変化

【骨折危険因子の増加あり？】

例：

- ・転倒増加
- ・フレイル
- ・活動性低下
- ・新規疾患・薬剤

YES → ウ適用

NO → STEP 5 へ

■STEP 5：BP 評価

【ビスホスホネート使用中 or 長期使用？】

YES → エ適用（休薬検討）

NO → STEP 6 へ

■STEP 6：薬剤

【骨に影響する薬剤あり？】

例：

- ・ステロイド
- ・アロマターゼ阻害薬
- ・抗アンドロゲン療法

・骨形成促進薬

YES → オ適用

NO → STEP 7 へ

■STEP 7：基礎疾患

【骨代謝に影響する疾患あり？】

例：

・関節リウマチ

・長期不動

・CKD

・フレイル

YES → カ適用

NO → 年1回のみ

■実務ポイント

●1 つでも該当すれば4ヶ月算定可能

●可能なら2要素以上で記載

例：

・長期不動+転倒リスク

・RA+ステロイド

■受付・医師チェックリスト

治療開始1年以内

骨折あり

転倒・フレイルあり

BP使用中

骨影響薬あり

慢性疾患あり

→ 1 つでもあれば算定検討

受付用問診チェックシート

□骨密度検査チェック（受付用）

以下に当てはまるものにチェックをお願いします。

- 最近1年以内に骨粗鬆症の治療を開始した
- 最近骨折した（転倒・軽いケガなど）
- 最近転びやすくなった／ふらつきがある
- 歩く量が減った・あまり外出しない
- ステロイド（プレドニンなど）を使用している
- 乳がん・前立腺がんの治療中である
- 骨粗鬆症の注射治療を受けている
- 関節リウマチがある
- 腎臓の病気（CKD）を指摘されている
- 食事量が減っている・体重が減っている
- 寝ている時間が長い・あまり動かない

■受付運用方法

- 1つでも該当 → 医師へ骨密度検査検討依頼
- 2つ以上該当 → 積極的に検査提案

■ポイント

- ・患者に分かりやすい表現にする
- ・専門用語は使わない
- ・毎回チェックでも OK